

平成27年度 志教育全体計画(柴田高校)

校 訓		
「自律・敬愛」	「英知・創造」	「忍耐・強靱」

本校の教育目標
(1) 礼節を重んじ、人に愛情を持って接し、積極的に自己啓発に努める人間を育てる。 (2) たゆまぬ努力により、学力の充実を図るとともに、幅広い教養を身につけ、創造力に富む人物を育てる。 (3) 心身の鍛錬により、強靱な心身と何事にも屈しない強靱な精神力を持つ人間を育てる。

生徒の実態
普通科と体育科の設置校で運動部の活動が盛んである。明るく元気な生徒が多く、卒業後の進路は多様であるが、それぞれの目標に向かって生き生きと学校生活を送っている。

保護者、地域のとらえ方
町内唯一の高校であり、地域からの期待も大きい。部活動が活発であり、挨拶の励行など基本的な生活習慣に関する指導が徹底されている学校であると評価されている。

志教育の目標
(1) 他者とよい人間関係を築きつつ、自他の理解を深め、自らの生き方を追求していく姿勢を育てる。 (2) 自分の夢実現と社会とのつながりを考え、社会の一員として未来を創造する力を育てる。

重要指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
自ら進んで他と関わっていく姿勢を育て、他者の価値観、役割、立場を理解・尊重し、互いに信頼しあえる人間関係を築く。また、他者との関わりの中で自己理解を深めていく。	多くの人や物、学習との出会いの中で、自己を生かす生き方や進路について考えさせる。これまでの自分や今の学習や体験活動と将来の職業・社会生活のつながりを考えさせる。	集団の中での自己の役割を理解し、責任を持った行動をとらせることにより、社会の一員としての自覚を持たせる。また自己理解に基づき、将来自分が社会において何ができるかを考えさせる。

各教育活動における取り組みの観点	
各教科	「わかる授業」を積み上げて、各教科の基礎基本の知識等の定着を図る。また、学びながら学習と自己の将来の関係を考えさせ、各自の選択に基づき、希望を実現させるための実力を養成する。加えて体育科は、競技力の向上と将来にわたってスポーツの振興に関わる姿勢を育てる。
道徳	「自他を尊重する豊かな心」、「自らの考えを表現する力」、「未来をたくましく生きる力」の育成に努める。
総合学習	自己の興味・適性の認識を深めさせるとともに、社会への関心をもたせる。また、大学見学や職場体験を通じて、将来の進路目標の具体化、明確化を図る。
特別活動	生徒会活動や部活動に積極的に取り組み、協調性、問題解決能力、責任感を養う。また自己の適性や課題を発見させ、自己を高め、自己を生かす能力を養う。
その他	遅刻指導、挨拶の実践の励行、昼休みの全員清掃指導を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。

各学年の取り組み内容	
1学年	①各種オリエンテーションの実施 ②進路適性検査の実施と結果の活用 ③社会人による座談会形式の進路講話の開催 ④進路ガイダンスの開催 ⑤オープンキャンパス、インターンシップ参加への準備
2学年	①進路適性検査の実施と結果の活用 ②社会人による座談会形式の進路講話の開催 ③進路ガイダンスの開催 ④オープンキャンパス、インターンシップへの参加とその体験発表 ⑤卒業生、3年生による進路体験講話の開催 ⑥具体的な進路目標の設定
3学年	①進路希望別ガイダンスの実施 ②作文、小論文指導、各種試験対策の実施 ③模擬面接指導の実施 ④進路希望先の事前見学 ⑤三者面談による進路希望の確認 ⑥進路講話の開催 ⑦最終進路先の確認と指導

家庭・地域との連携
PTA活動や学校評価、授業・進路行事の公開などを通じて情報交換に努める。また、地域でのボランティア、自転車マナーアップ運動などの機会を通じて、社会に貢献できる人材の育成に努める。

大学・企業との連携
インターンシップ、社会人講話、仙台大学との高大接続事業等を通じて、社会とのつながりを重視した進路を考えさせ、望ましい社会観・自己の将来像の育成に努める。